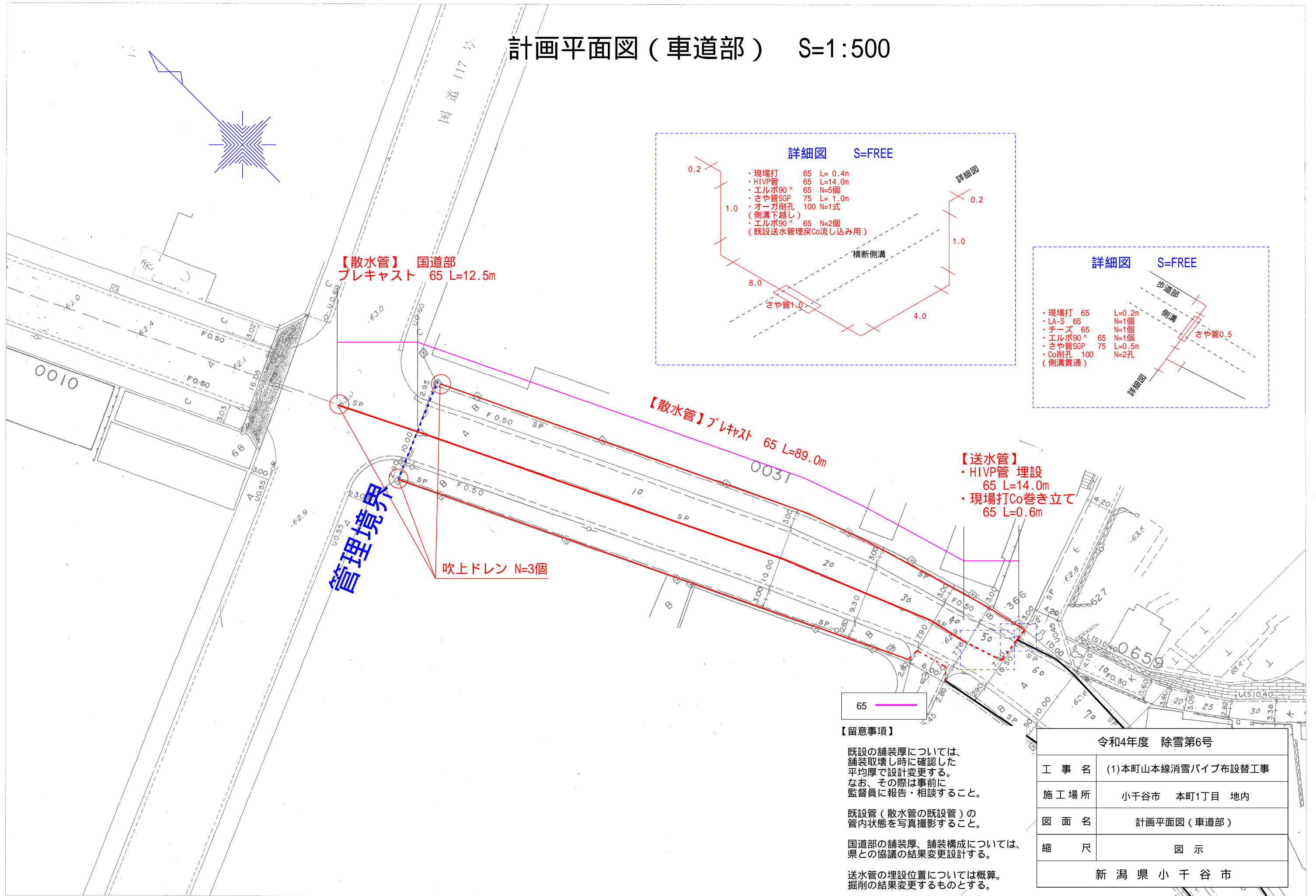
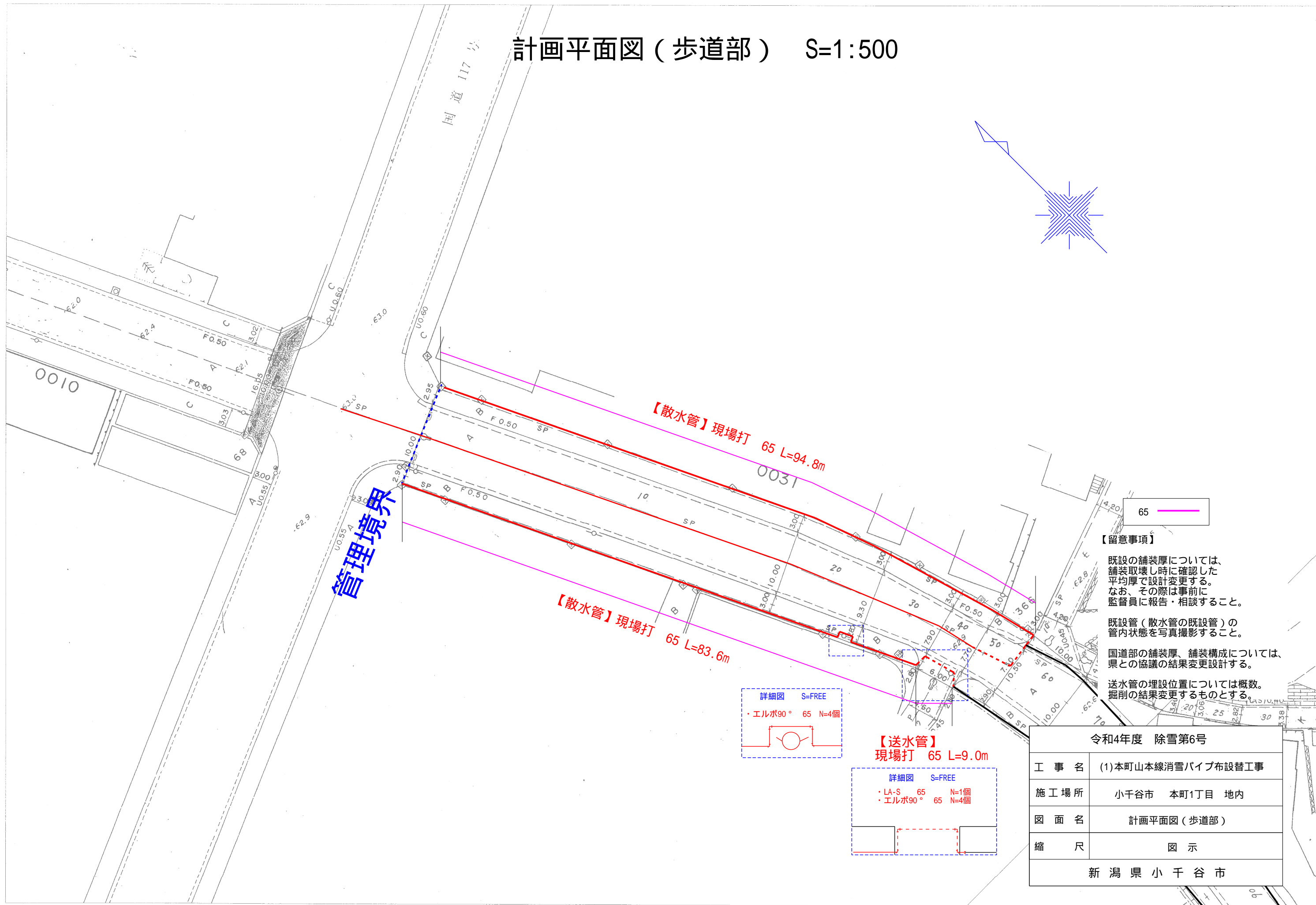


# 計画平面図（車道部） S=1:500



計画平面図（歩道部） S=1:500



65

【留意事項】

既設の舗装厚については、  
舗装取壊し時に確認した  
平均厚で設計変更する。  
なお、その際は事前に  
監督員に報告・相談すること。

既設管（散水管の既設管）の  
管内状態を写真撮影すること。

国道部の舗装厚、舗装構成については、  
県との協議の結果変更設計する。

送水管の埋設位置については概数。  
掘削の結果変更するものとする。

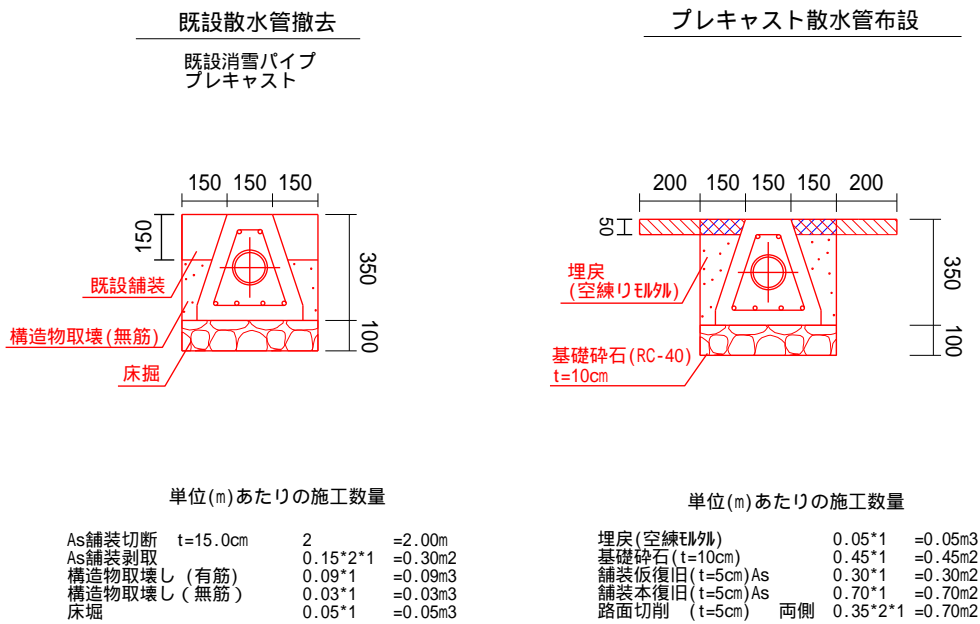
詳細図 S=FREE  
・エルボ90° 65 N=4個

【送水管】  
現場打 65 L=9.0m  
詳細図 S=FREE  
・LA-S 65 N=1個  
・エルボ90° 65 N=4個

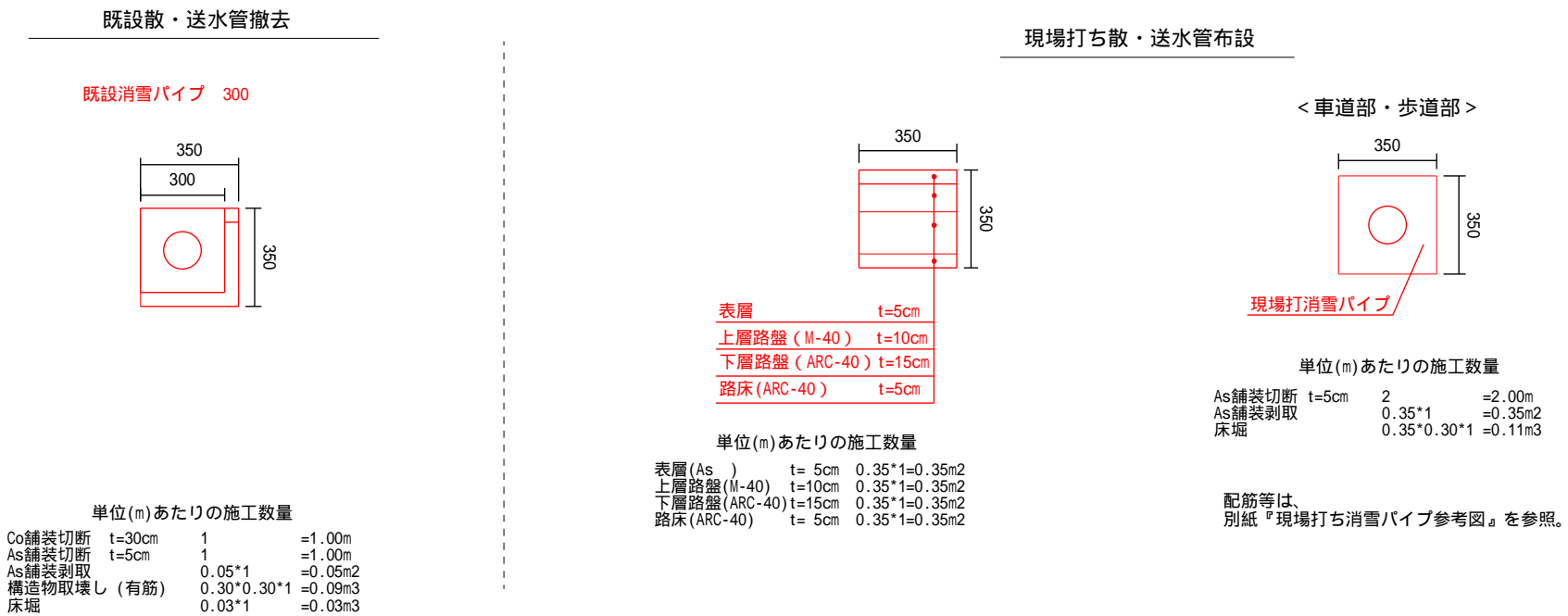
令和4年度 除雪第6号	
工 事 名	(1)本町山本線消雪パイプ布設替工事
施 工 場 所	小千谷市 本町1丁目 地内
図 面 名	計画平面図（歩道部）
縮 尺	図 示
新潟県小千谷市	

# 標準断面図

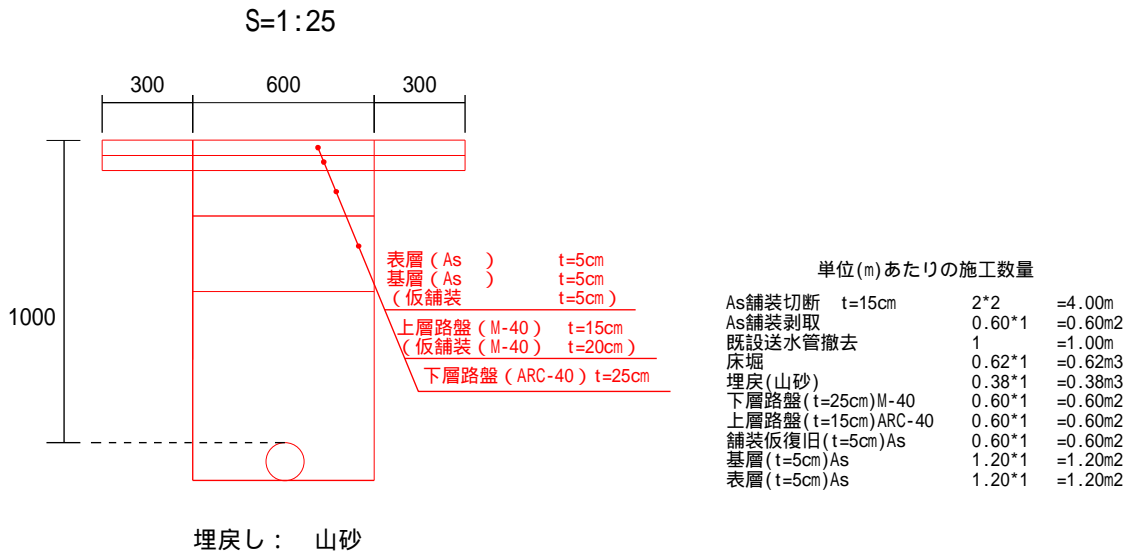
## <プレキャスト散水管> S=1:25



## <現場打ち散水管 車・歩道部> S=1:25



## 車道部 送水管標準断面図



### < 凡 例 >

本舗装  
仮舗装

### 【留意事項】

既設の舗装厚については、舗装取壊し時に確認した平均厚で、設計変更する。  
なお、その際は事前に監督員に報告・相談すること。

歩道の舗装構成については暫定。  
掘削の結果設計変更する。

既設管(ポンプ)から散水管を結ぶ送水管及び散水管の既設管)の管内状態を写真撮影すること。

国道部の舗装厚、舗装構成については、  
県との協議の結果変更設計する。

### 令和4年度 除雪第6号

工 事 名	(1)本町山本線消雪パイプ布設替工事
施 工 場 所	小千谷市 本町1丁目 地内
図 面 名	標 準 断 面 図
縮 尺	図 示
新 潟 県 小 千 谷 市	

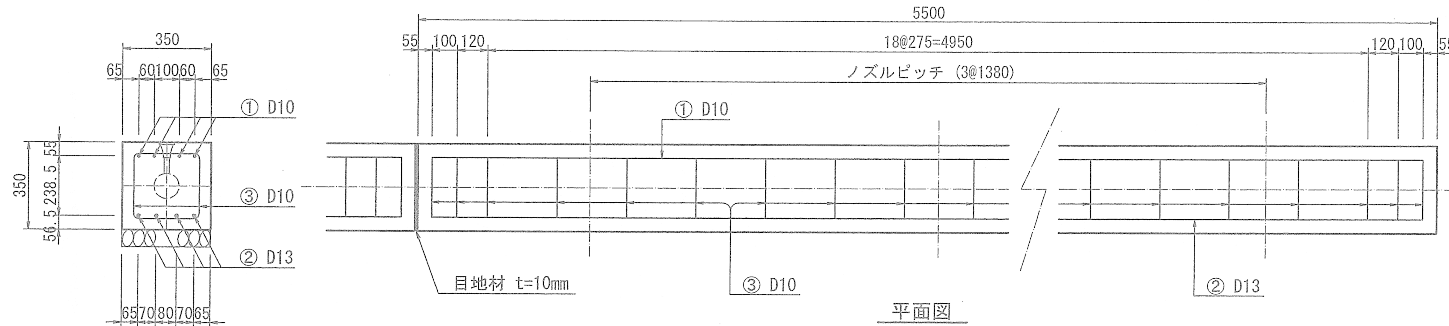
# ① 車道部消雪パイプ参考図

(配管径 150A以下)

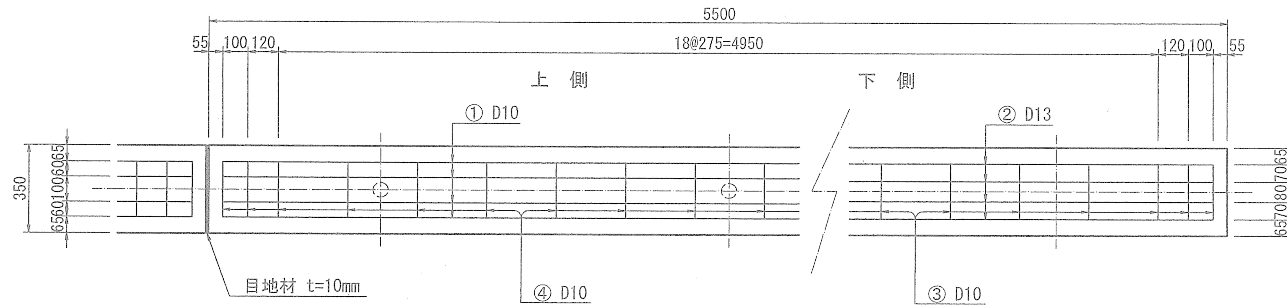
現場打設コンクリート

項 目	設 計 値
設計軸荷重	50 kN
コンクリート設計基準強度	30 N/mm <sup>2</sup>

側面図

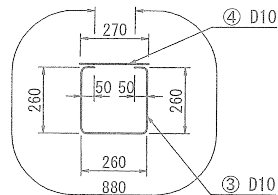


平面図



(注) 地盤反力係数  $2 \times 10^5$  kN/m<sup>3</sup> 以上  
地盤に適用する (よく締め固められた  
砂湿じり砂利)  
なお、その値を下回ると推定される  
場合には別途考慮するものとする。

組立筋加工図



鉄 筋 表

5.50m当り

番号	鉄筋	本数	長 さ (mm)	単位質量 (kg/m)	質 量 (kg)	摘 要
1	D10	4	5,390	0.560	12.074	
2	D13	4	5,390	0.995	21.452	
3	D10	23	880	0.560	11.334	
4	D10	23	270	0.560	3.478	
					D13以下 = 48.338kg	
※55.0m当り					D13以下 = 483.380kg	

(注) 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。

コンクリート等数量表

5.50m当り

	65	75	100	125	150	摘 要
全体断面積 (A)	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	$0.35 \times 0.35$ m <sup>2</sup>
パイプ断面積 (B)	0.0045	0.0062	0.0102	0.0154	0.0214	$\pi d^2 / 4$ m <sup>2</sup>
実断面積 (C)	0.1180	0.1163	0.1123	0.1071	0.1011	(A) - (B) m <sup>2</sup>
コンクリート体積 (D)	0.649	0.640	0.618	0.589	0.556	(C) $\times$ 5.50 m <sup>3</sup>
※ 55.0m 当り	6.49	6.40	6.18	5.89	5.56	(D) $\times$ 10 m <sup>3</sup>
※ 目地材	10箇所 (55.0m/5.50m) $\times$ 0.123m <sup>2</sup> = 1.23m <sup>2</sup>					t = 10mm
※ 路盤紙	0.35 $\times$ 55.0m = 19.25m <sup>2</sup>					

(注) 1. パイプはVPとしての数量を示す。  
2. 基礎クラッシャーランを入れる場合は路盤紙を計上しない。  
3. ※印 55.0m 当りの数量を示す。

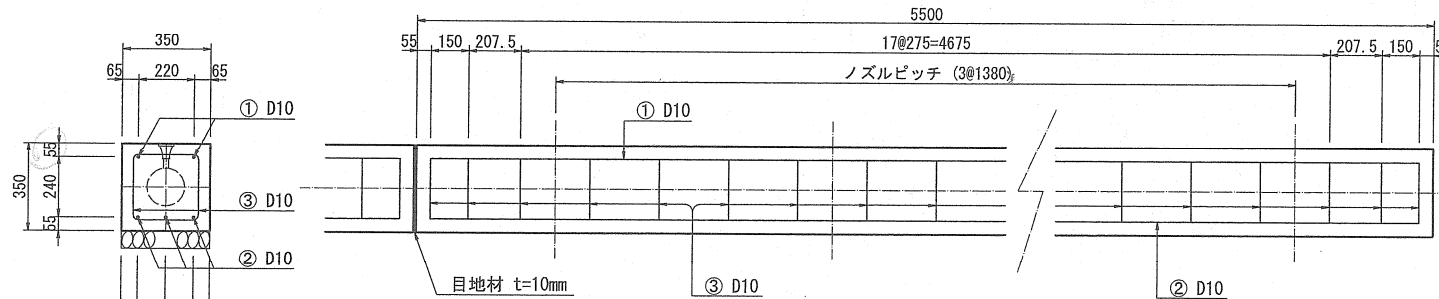
## ② 歩道部消雪パイプ参考図

(配管径 150A以下)

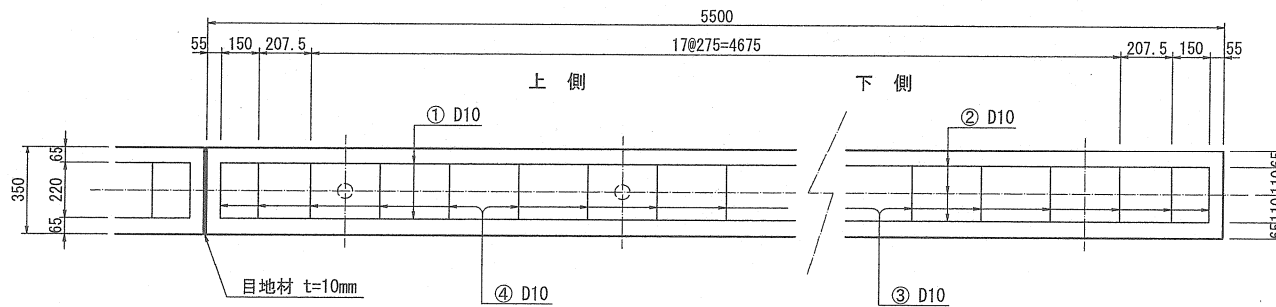
現場打設コンクリート

項 目	設 計 値
設計輪荷重	20 kN
コンクリート設計基準強度	24 N/mm <sup>2</sup>

側面図

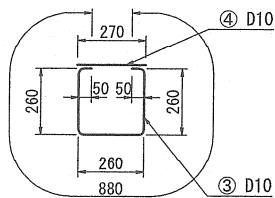


平面図



(注) 地盤反力係数  $1 \times 10^5$  kN/m<sup>3</sup> 以上  
地盤に適用する (よく締め固められた、  
砂混じり砂利)  
なお、その値を下回ると推定される  
場合には別途考慮するものとする。

組立筋加工図



鉄筋表

5.50m当り

番号	鉄筋	本数	長さ (mm)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	摘 要
1	D10	2	5,390	0.560	6.037	
2	D10	3	5,390	0.560	9.055	
3	D10	22	880	0.560	10.842	
4	D10	22	270	0.560	3.326	
D13以下 = 29.260kg						
※55.0m当り						D13以下 = 292.600kg

(注) 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。

コンクリート等数量表

5.50m当り

	65	75	100	125	150	摘 要
全体断面積 (A)	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	$0.35 \times 0.35$ m <sup>2</sup>
パイプ断面積 (B)	0.0045	0.0062	0.0102	0.0154	0.0214	$\pi d^2 / 4$ m <sup>2</sup>
実断面積 (C)	0.1180	0.1163	0.1123	0.1071	0.1011	(A) - (B) m <sup>2</sup>
コンクリート体積 (D)	0.649	0.640	0.618	0.589	0.556	(C) $\times$ 5.50 m <sup>3</sup>
※ 55.0m 当り	6.49	6.40	6.18	5.89	5.56	(D) $\times$ 10 m <sup>3</sup>
※ 目地材	10箇所 (55.0m/5.50m) $\times$ 0.123m <sup>2</sup> = 1.23m <sup>2</sup>					t = 10mm
※ 路盤紙	0.35 $\times$ 55.0m = 19.25m <sup>2</sup>					

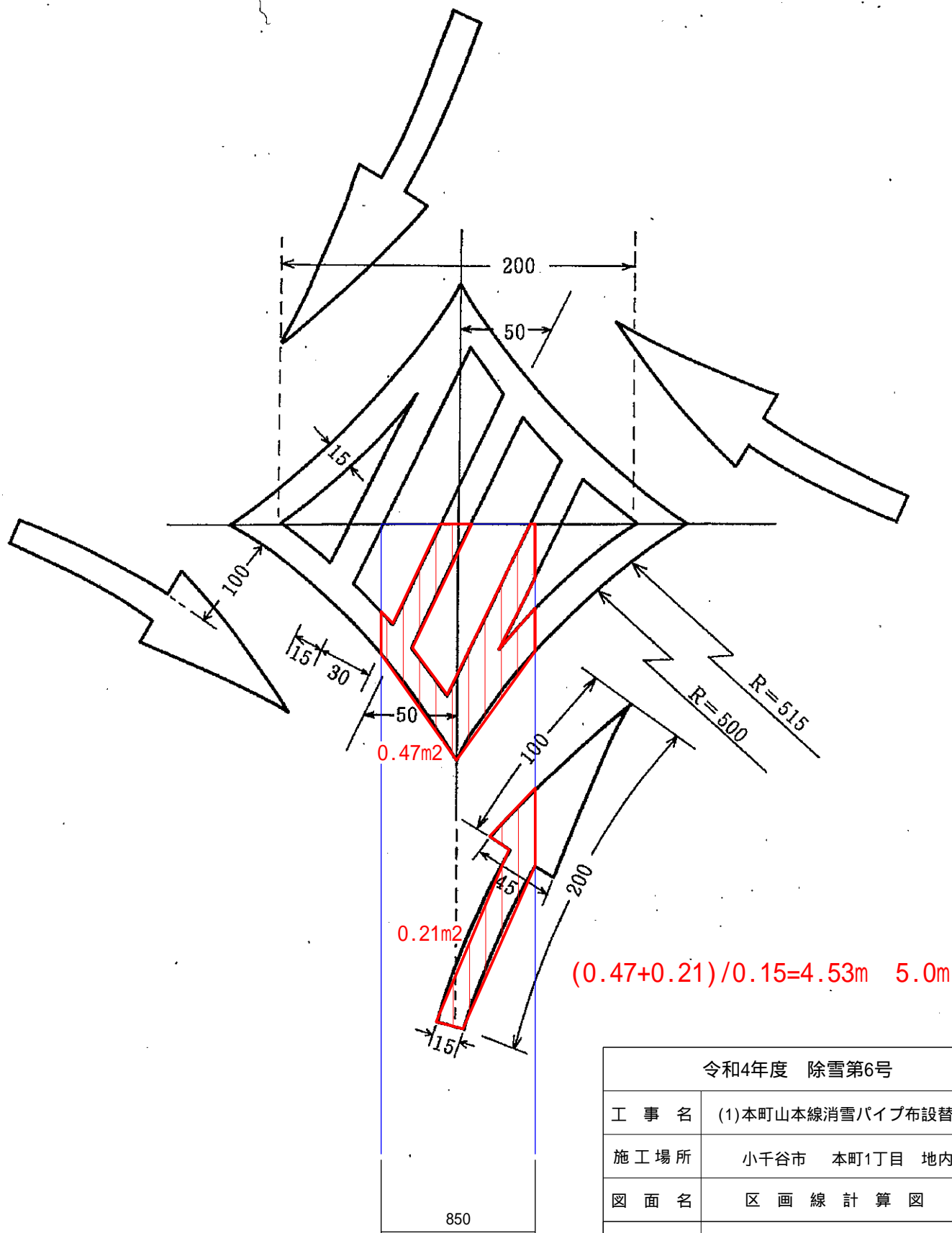
(注) 1. パイプはVPとしての数量を示す。  
2. 基礎クラッシャーランを入れる場合は路盤紙を計上しない。  
3. ※印 55.0m 当りの数量を示す。



# 区画線計算図

S=1:30

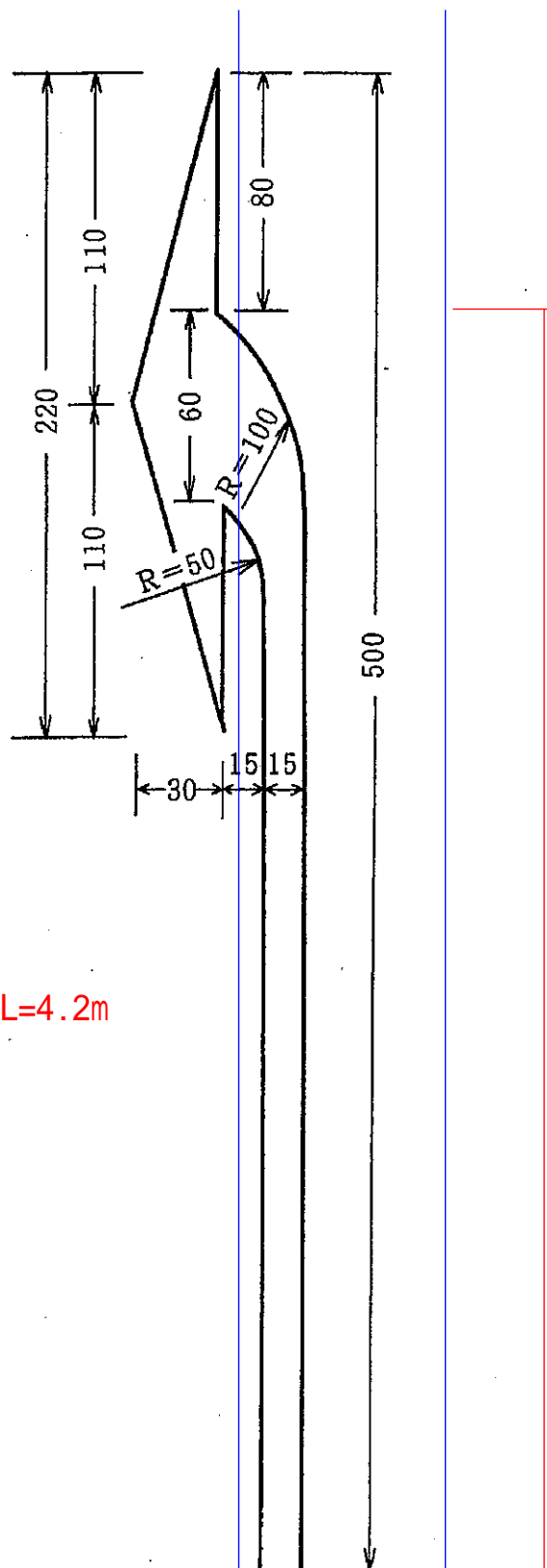
(対角 2 m)



令和4年度 除雪第6号	
工 事 名	(1)本町山本線消雪パイプ布設替工事
施工場所	小千谷市 本町1丁目 地内
図 面 名	区 画 線 計 算 図
縮 尺	図 示
新 潟 県 小 千 谷 市	

# 区画線計算図

S=FREE



令和4年度 除雪第6号	
工 事 名	(1)本町山本線消雪パイプ布設替工事
施 工 場 所	小千谷市 本町1丁目 地内
図 面 名	区 画 線 計 算 図
縮 尺	図 示
新潟県小千谷市	